

JOMF 派遣医師便り (2013. 1)

◆ジャカルタ◆ 洪水

JJC 医療相談室 原 稔

雷の音で目が覚めました。数日前から続く大雨で、市内中心部が洪水になり道路は大渋滞。土砂降りの中を歩いて出勤です。

川のようになった道を行かざるを得ません。ジャカルタのどぶ川の汚さ、臭さは日頃からよく知っています。それだけに、初めは若干躊躇しましたが、一度靴の中がグジュグジュになってしまうと感覚が麻痺します。荷物は濡れないように



胸の前に抱えて、あとはズコズコと進んで行きました。傘はあまり役に立たず、相談室に着いたときはずぶ濡れです。



着替えて、一息つきながら外を眺めると、裏の駐車場は腰の高さまで水に浸かっています。モスクの周りにも水が来ています。ボートを引いている人。車やバイクを押ししている人。頭の上に荷物を載せて運んでいる人。

子供は無邪気に泳いで遊んでいます。水際にはカキリマ（小型の屋台）が営業していました。



やはり気になるのは、普段の溝の汚さです。下水道は普及していません。駐車場脇には、悪臭を放つゴミの山が常にあります。いろいろなものが流れ出ているはずですが。



「そんなところで子供を泳がせるなよ」と言いたくなりますが、家自体が水に浸かっています。



「ジャカルタは汚いけれどセシウムは無い」「安倍首相は来れるのかね」「大雨でも予約どおり検診に来るのが日本人やな」「今場所は日馬?」・・・大雨でがらんとした診察室に居ると、思いが巡ります。

赴任後、今年の雨期が一番激しいようです。アメーバ赤痢やレプトスピラなどの感染症に、より一層の注意が必要です。

